

平成 27 年

2月定例会会議録

平成 27 年 2 月 13 日

萩・長門清掃一部事務組合議会

目 次 (第1号)

○議 事 日 程	3
○出 席 議 員	3
○日 程 第 1	会議録署名議員の指名	3
○日 程 第 2	会期の決定	4
○日 程 第 3	諸報告	4
○日 程 第 4	議案第1号	5
○討 論	8
○表 決	8

平成 27 年 2 月

萩・長門清掃一部事務組合議会定例会会議録（第 1 号）

議事日程第 1 号

平成 27 年 2 月 13 日（金曜日）午前 10 時開議

第 1 会議録署名議員の指名	事務局主幹 岡崎君義君
第 2 会期の決定	事務局主幹 福場正君
第 3 諸報告	事務局主幹 津室猛君
第 4 議案第 1 号	事務局主幹 松尾要君
	事務局主幹 植木信安君

○本日の会議に付した事件

日程第 1 会議録署名議員の指名
日程第 2 会期の決定
日程第 3 諸報告
日程第 4 議案第 1 号

○書記出席者

書記	長藤岡敏彦君
書記	濱村祥一君
書記	河野隆一君

○出席議員（8名）

1 番	重廣正美君
2 番	重村法弘君
3 番	中野伸君
4 番	波多野勝君
5 番	南野信郎君
6 番	三輪徹君
7 番	美原喜大君
8 番	横山秀二君

午前 10 時 00 分開会

○議長（横山秀二君） ただいまから、平成 27 年 2 月萩・長門清掃一部事務組合議会定例会を開会いたします。

これより、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

○説明のため出席した者

管理者	野村興兒君
副管理者	大西倉雄君
事務局長	平田幸三君
事務局次長	大津哲也君
会計管理者	田中隆志君
事務局主幹	杉山寛校君

日程第 1 会議録署名議員の指名

○議長（横山秀二君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に、5 番、南野議員、7 番、美原議員を指名をいたします。

日程第 2 会期の決定

○議長（横山秀二君） 日程第2、会期の決定の件を議題といたします。

お諮りをいたします。

本定例会の会期は、本日一日限りといたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔異議なし〕と呼ぶ者あり〕

○議長（横山秀二君） 御異議なしと認めます。したがって会期は、本日一日限りと決定をいたしました。

日程第3 諸報告

○議長（横山秀二君） 日程第3、諸報告を行います。

組合管理者より報告を求めます。管理者。

〔管理者 野村興兒君登壇〕

○管理者（野村興兒君） 定例会に当たりまして3点、御報告を申し上げたいと思えます。

最初に、新清掃工場整備運営事業についてであります。新清掃工場建設工事につきましては、その後、順調に進捗しており、2月から3月上旬にかけて管理棟2階の見学者説明装置の設置、多目的広場の整備や植栽等の場内整備工事を行います。3月末の竣工に向けて最後まで工事の安全に心がけてまいります。

施設の運転についてであります。昨年、11月から12月にかけてプラント及び建築設備の各機器の動作確認及び調整を経て12月22日から萩市、長門市、阿武町の収集ごみを受け入れて、12月26日から試験焼却を開始しており、ごみの受け入れや試験焼却は順調に推移しております。

ごみ焼却施設の建設は、性能発注方式でありますことから、施設が完成いたしますと実際にごみを焼却して、求める性能が達成されているかについて確認試験を行うこととなります。本施設については、ごみ処理能力や公

害防止基準等の性能保証事項確認のための試験を、予備性能試験と引き渡し性能試験の2回行うこととしており、1月28日から31日にかけて予備性能試験を実施し、順調に終了いたしました。引き渡し性能試験については、2月25日から3月1日にかけて実施いたします。

3月20日に竣工検査を行い、竣工式については既に御報告しております。3月25日10時から本組合の主催により、萩・長門清掃工場「はなもゆ」において実施いたします。なお、本組合事務局は、2月下旬に竣工式及び供用開始の準備等のため、萩・長門清掃工場「はなもゆ」管理棟に移転いたします。

2番目に、環境ポスターコンクールの結果についてであります。萩・長門清掃工場「はなもゆ」の竣工を記念して、萩市及び長門市教育委員会の共催により、小中学生を対象とした環境ポスターコンクールを実施いたしましたところ、小学生の部47点、中学生の部34点、合計81点の応募がありました。審査については、萩市、長門市各教育委員会による一次審査、両市の教育委員会合同での二次審査により、小学校の部、中学校の部、それぞれ最優秀賞1点、優秀賞1点、激励賞6点を選定していただきました。先般、御報告いたしました愛称募集の表彰者とあわせ、3月25日の竣工式において表彰することとしております。なお、このたびご応募いただいた81点の環境ポスターについては、萩・長門清掃工場「はなもゆ」の見学者通路、工場見学エリアのエコギャラリーに掲示いたします。

3番目に、竣工に当たってであります。萩市と長門市の初めての共同事業である新清掃工場建設工事は、多くの課題を乗り越え、議会の御賛同をいただきながら、当初の計画どおり、平成27年4月1日の供用開始を迎えることができる運びとなりました。振り返ってみますと、平成21年5月、長門市におかれましては、萩市との共同事業に御賛同いた

だきました。それ以降、新清掃工場建設地を両市にとって最適の場所である小原地区に決定、翌年4月に一部事務組合を設立し、整備方針を設計、施工と20年間の施設運営を一括して発注するDBO方式と決定、アクセス道路の建設、生活環境影響調査の実施、1年5カ月にわたる事業者選定作業を経て竣工に至るまで約6年の短期間で建設事業を完了することができました。このことは、議会を初め多くの関係者の皆さんの御理解と御支援、御協力の賜物であると感謝いたしております。今後も、萩市と長門市、両市が連携、協力し合い、これからの施設運営を着実に進めてまいりますので、御支援、御協力を賜りますようお願いを申し上げます。

以上、3点、御報告を申し上げます。

○議長（横山秀二君） 組合管理者の報告は終わりました。

以上で、諸報告を終了いたします。

日程第4 議案第1号

○議長（横山秀二君） 日程第4、議案第1号を議題といたします。

議案第1号 平成27年度萩・長門清掃一部事務組合一般会計予算

○議長（横山秀二君） 提案者より提案理由の説明を求めます。管理者。

〔管理者 野村興兒君登壇〕

○管理者（野村興兒君） 本定例会に提案いたします議案について御説明を申し上げます。

議案第1号平成27年度萩・長門清掃一部事務組合一般会計予算は、萩・長門清掃工場運営初年度の予算であり、歳入歳出それぞれ4億1,602万9,000円を計上いたしました。これは、前年度当初予算額に比べ、22億3,461万3,000円の減額であ

ります。

萩・長門清掃工場「はなもゆ」が平成27年3月に竣工し、いよいよ4月から本格稼働することから、環境と安全に配慮し、搬入される可燃性ごみの適正な処理にしっかり取り組んでまいります。

歳入予算について、第1款分担金及び負担金は、本組合を構成する萩市と長門市の分担金で、萩市が1億2,207万3,000円、長門市が1億357万1,000円、合わせて2億2,564万4,000円の計上であります。これは、前年度当初予算額に比べて、15億1,961万6,000円の減額であります。

第2款使用料及び手数料は、萩・長門清掃工場に直接ごみを搬入する事業者等から徴収する廃棄物処理手数料で、1億6,474万6,000円の計上で、前年度当初予算額に比べて1億4,984万6,000円の増額であります。

第3款財産収入6,000円は、萩・長門清掃工場敷地内の電柱設置等にかかわるものであります。

第4款繰越金は、平成26年度決算が確定した後に補正する予定であります。

第5款諸収入は、阿武町からの受託事業収入2,563万円と預金利子及び雑入をあわせて2,563万2,000円の計上で、前年度当初予算額に比べて、2億2,141万6,000円の減額であります。

次に、歳出予算について、第1款議会費、162万3,000円は、前年度当初予算額に比べ21万9,000円の減額で、組合議会の議員報酬、議員の先進地視察費及び組合議会の運営に係る経費を各節に配分計上いたしております。

第2款総務費2,833万8,000円は、前年度当初予算額に比べ647万7,000円の増額で、萩・長門清掃一部事務組合廃棄物の処理に関する条例第10条の規定により設置する環境管理委員会の委員報酬及び費用

弁償36万5,000円と本組合事務局の職員給与等負担金などの組合の運営に係る経費、公平委員会及び監査委員の運営に係る経費を各節に配分計上いたしております。

第3款衛生費3億8,499万5,000円は、前年度当初予算額に比べて、22億4,087万1,000円の減額であります。平成27年3月31日の施設竣工、4月1日の運営開始に伴い、新清掃工場建設費を廃目し、清掃工場運営費を新設いたしました。

萩・長門清掃工場の施設運営を担う株式会社「はないろ」への運營業務委託料2億9,486万3,000円、株式会社「はないろ」の施設運営に関して技術面及び財務面についてモニタリングするための業務委託料、242万4,000円、場内防護フェンス外ののり面等の草刈りの業務委託料、153万1,000円、焼却灰をセメント原料に再資源化するための運搬及び処分委託料8,550万円、小原地区飲料水施設の維持管理に係る経費38万8,000円等を各節に配分計上いたしております。

第4款公債費は、一時借入金利子、7万3,000円、第5款予備費は100万円の計上で、前年度当初予算額と同額であります。

以上、議案第1号平成27年度萩・長門清掃一部事務組合一般会計予算について、その概略を御説明申し上げます。よろしく御審議をお願いいたします。

○議長（横山秀二君） 以上で、上程いたしました議案に対する提案理由の説明は終わりました。

これより、質疑を行います。

議案第1号平成27年度萩・長門清掃一部事務組合一般会計予算に対する質疑を行います。質疑はありませんか。（「質疑あり」と呼ぶ者あり）はい、どうぞ。

○2番（重村法弘君） おはようございます。長門の重村でございます。

今、議題となっております当初予算のですね、件につきまして1点ほど管理者の方にお尋ねをさせていただきたいと思っております。

いよいよ待ち望んでるですね、清掃工場が試運転の段階に入り、今、報告がありましたとおり、順調に4月を迎えようとしていると、供用開始に向けてということでございます。

その中でですね、今回の予算書の中で、予算書16ページになります。第3款衛生費清掃工場の運営費について1点お尋ねをいたします。

この中にはですね、萩・長門清掃工場「はなもゆ」に業務運営委託料としまして、2億9,486万3,000円が計上されております。1点お尋ねはですね、先日、この予算資料をいただきまして説明を受けました。そういったときに、この委託料の中にはですね、委託料を算定するにあたって、固定費を2億2,447万1,410円。そして、変動費としまして、27年度に予想されるごみ量を約2万8,292トンという推計のもとにあわせて委託料が予算計上されているものであります。その中に、今年度、この算定の持ち込み量というのは、26年度がまだまっておりますから、平成23年、24年、25年、このごみ量を基に、平均値として算定してここに計上されているものであります。そこでお尋ねは、本年度、大河ドラマ等で萩市、長門市、観光客数または宿泊数というのがですね、非常に期待されるころでもあり、増大されるというのはある意味、そうならないと困るといふ現状もあるかと思うんですが、その中で、家庭系のごみはですね、平年どおりという形で推測ができるわけですが、事業系のごみ、観光客がふえればふえるほど経済活動が活発になり、搬入されるごみ量はふえるというふうには私は推測するわけですが、この持ち込み量のごみの推計の量、これに当たってはそういった27年度予測されるであろう事業系のごみ、これを予算計上されてないというふうには私は読み取っ

ているのですがそれを1点、管理者の方にどのように思われているのかお尋ねをいたします。

○議長（横山秀二君） 管理者。

○管理者（野村興兒君） ただいまお話がありましたこの委託費の中には、固定的な経費とそして可動的な、要するに変動します要素のものと分かれるわけでありまして。今、ごみ量というのは当然ながらそのときの事情によって変動する。こういうようなことでありますから、今、私どもは直近の3年間の平均値を取ろう、こういうようなことで予測をしているわけでありまして。しかし、これは、実際、具体的にそのときを経験してみなければ、具体的にはわからないんであります。しかし、やはり予算を組んでいくわけでありまして、かなり大胆な判断をする場合もございます。実はこの3年間と言いますのは、例えば、平成23年は山口国体があったんですね。山口国体はかなり増加要因で今、重村議員が御指摘のようにですね、例えば、相当の数が実は萩にも長門市も宿泊をしています。あるいは、いろんな準備行為もございました。こういったことがありまして、確かに23年度はふえているんですね。そして、これは私ども萩市とそれから長門市合計いたしましてもかなりの量の増がございました。しかし、24年度は余りそういうものはない。それは減になりました。そして、今度は25年度は、実はこれは萩市の特殊事業であります。萩市の東部で大災害がありました。この、災害ごみというのは途方もない量があります。これで、例えば、萩の場合は、総体としてあらゆるものを入れて収集ごみも直接搬入されるごみも含めてであります。300トンをはるかに超える量がふえております。この3カ年の平均というのは、そういった意味で、その上がって下がって上がってというですね、こういったこの量でございます。長門においても同じ

ように、大体同じような傾向がございます。したがって、これをどういうふうな形で推計をするかという話は、確かに今、27年度については、この萩にとってみればいろんな意味でプラスになっていまして、これは長門にも当然波及効果ありますから、そういった意味ではふえる要因にあるかもしれませんが、過去3年間のそのような状況を一つ加味すれば、そのあたりは平均値としていけるだろう。

いまひとつこれはですね、全体の総体の流れなんでありまして、実は萩、長門もそうあります。今、人口がですね萩の場合大体1,000近く、長門と合わせて1,500毎年人口が減少してきている。人口一人についてごみの排出量というのはこれは平均値が出ているわけですから、1,500人減っていくというのは、実はごみの量はですね、漸減傾向です。そういうことでベースで、私どもは本当はもう少し減るんじゃないかと、こういうふうに思っていました。過去3年間もいろんなその年の事情もありますし、地域の事情もございまして。例えば今、清掃工場に持ち込む手数料はかなりアップになりました。これは恐らく持ち込みするごみの量の抑制効果に働くわけでありまして。今の自然減と同じように、これは恐らくごみの量は減っていくのではなかろうかと、こういうふうに思っております。しかし、今、お話がありました大きなイベントとか観光要件、そういったものはプラス要素に作用します。だから、私どもは過去3年間の平均値でまあ大丈夫だろうと、かなり大目に見ているつもりであります。万が一ですね、そういった量が著しくふえるようなこと、これは恐らく嬉しい悲鳴だろうと思っております。そのようなことが起これば、これはその時々でまた、議会にお諮りいたしまして補正を組まざるを得ない、こういうことであります。今の時点では、そういうことは起こり得ないと思っております。嬉しい悲鳴としてそういったこともあっては

しいなと思う気持ちも一方でございます。まさにそういったことも内部で議論をしておりますので、重村議員のいろんな御指摘、しっかり承りましたので、また、万万が一のときにはちゃんとまた議会に御報告し、しかるべき補正を立てていきたいと思っております。

以上であります。

○議長（横山秀二君） 2番、重村議員。

○2番（重村法弘君） それではこれで最後にします。

私ですね、一般家庭ごみから出る排出量というのはですね、各自治体、把握をされてごみの減量であるとかリサイクルの促進であるとかということがそれぞれ行われているかと思うんですが、萩市にしても長門市にしても一つは観光のまちづくりをやはり主に自治体経営をされております。観光客がですね、どのくらいごみを持ち込むかというのをいろいろ調べてみるとですね、静岡県熱海市がかなり分析をいたしております。もう簡潔に言いますが、一人当たり2キロの、一人当たり2キロです。というのが、一人の方が宿泊すればそこに晩御飯、朝食、そういった生ごみ、ホテルから排出されるごみですよ。そういったもの、瓶、缶、それから可燃ごみです。これを推計すると、お一人の方が一泊するに当たって2キロのごみが出ると。これは間違いなく事業系のごみとして必ず搬入されるはずであります。今、管理者の方の御答弁をいただきまして、安心をいたしましたけれども、今後、第1回目のこれは予算でございますけれども、来年度、再来年度、これから20年間にわたってですね、組合の予算をつくる上で、ぜひ、今後はこういったものも加味して、予算の計上をしていただきたいというふうに思っています。

以上で終わります。

○議長（横山秀二君） 管理者。

○管理者（野村興児君） 重村議員の今、御指摘、確かに観光、いろんな私ども推計をしておりますが、万万が一にですね、そういうことがあれば、しっかり対応をしていきたいと思っております。これは嬉しい悲鳴かもしれませんが、とにかく、今、何としてでも萩市も長門市もいろんな意味で連携をして、観光客の受け入れ、しっかりやっていきたいと思っております。

○議長（横山秀二君） ほかに質疑はありますか。（「質疑なし」と呼ぶ者あり）ないようでありますので議案質疑を終わります。

討 論

○議長（横山秀二君） これより、討論を行います。討論はありませんか。（「討論なし」と呼ぶ者あり）討論なしと認めます。

表 決

○議長（横山秀二君） これより、採決を行います。

議案第1号平成27年度萩・長門清掃一部事務組合一般会計予算は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

〔起立全員〕

○議長（横山秀二君） 起立全員であります。よって、議案第1号は、原案のとおり可決されました。

以上で、本定例会の議事はすべて終了いたしました。

これもちまして、平成27年2月萩・長門清掃一部事務組合議会定例会を閉会いたします。

午前10時22分閉会

地方自治法第123条第2項の規定により

ここに署名する。

平成27年2月13日

萩・長門清掃一部事務組合

議 長 横 山 秀 二

議 員 南 野 信 郎

議 員 美 原 喜 大